

公社) 日本山岳会栃木支部 2024年11月マスターズクラブ山行報告書

- 1 期日：2024年11月6日(水)
- 2 場所：天狗鳥屋から鞍掛山(栃木県宇都宮市)
- 3 コース：宇都宮森林公園駐車場→天狗鳥屋→長倉山→細野峠→猪倉峠→鞍掛山登山口→鞍掛山神社(昼食)→鞍掛山登山口
- 4 参加者：菱田克彦、村田美代、鈴木清一(ゲスト)

5 行動概要

7:30 鈴木宅に集合し、車2台で鞍掛山登山口へ行き、1台をデポした後、宇都宮森林公園駐車場へ行った。8:15に歩き始めたが、100mも進まないうちに、雨が降りだし、合羽を着たが、その時が一番の降りで、その後は時折パラつく程度であった。

天狗鳥屋の登山口は、標識がなく、公園内のトリムコースの階段を進むと、分岐があり、『コブシ岩展望台400m』との看板があった。コブシ岩は天狗鳥屋直下の岩なので、そちらに進んだ。150mほど進むと、何も標識のない左への分岐があり、その先に天狗鳥屋と思われるピークが木々の間から見えるので、左折した。頂上直下で道はT字路に突き当たるが、ここにも何も標識がない。明らかに頂上方向である右に進むと、確かに頂上(標高365m)であるが、何も表示がない。来た道に戻って、T字路を反対側に進むと、ベンチのあるコブシ岩展望台へ出た(9:10)。木々の間から、水の抜かれた赤川ダムが見え、さらに先には多気山が見えた。このあたりで地理院地図に山名が記されているのは、古賀志山、鞍掛山そしてこの天狗鳥屋(地図にルートは記されていない)なのに、あまりにも不親切。



天狗鳥屋山頂



天狗鳥屋コブシ岩からの眺望

もとの道に戻り、鞍掛山方面に向かった。長倉山の手前まで行くと、右から合流してくる道(北尾根コース)があり、きちんとした標識がある。この後この北尾根コースを進んだ。

長倉山(地元呼称:七倉山)は、天狗鳥屋とほぼ同じ標高だが、地理院地図には山名も標高点もない。素通りして細野峠まで下った。この辺りから、鞍掛山の麓のゴルフ場跡地に作られた太陽光発電所のパネルが見え、せつかくの景観を台無しにしている。ここまでは、急勾配も岩場もなく、楽なコース。



細野峠手前から見た鞍掛山

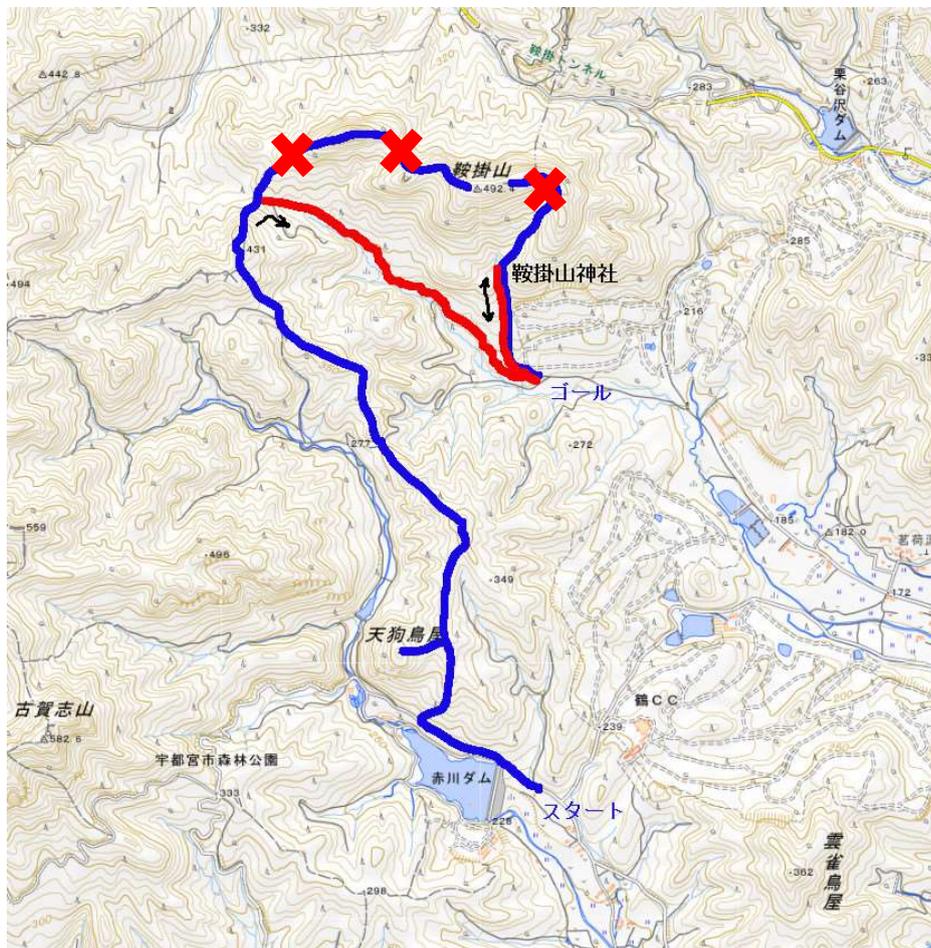


鞍掛山神社（左上端が「お穴」）

10:05 細野峠から 431mピークへ向かって登った。ピークに近づくにつれ、岩場が多くなる。ピークは展望がない。下りも岩場が多く、少し危険。11:20 猪倉峠に着いた。本来のルートは、ここからシゲト山を経て、鞍掛山へ向かうのであったが、鞍掛山登山口方向に進んだ。少し行くと車が走れる広い道となる。11:45 鞍掛山登山口に着いた。

まだ時間が早いので、鞍掛山神社^(註)まで登ることにした。神社を参拝したのち、昼食をとり下山した(13:10)。

村田、鈴木は、この山域から数 km のところに住まいがあるが、菱田も含めて初めてのルートであったので、新鮮な気持ちで歩くことができた。また、低山ながら岩場もあって、楽しめた。(菱田 記)



行程図

✕ : 中止したルート

(註) 鞍掛山神社：神社は鞍掛山中腹の「お穴」と呼ばれる洞窟に祀られている。
神社として整えられたのは江戸時代の中期と伝えられている。
信仰の対象は雷・雹・風水害・害虫除けと五穀豊穰・家内安全である。
鞍掛山や神社には多くの史実が残されており、中でも日光を開山した 勝道上人は鞍掛山の頂上から男体山を望み、日光開山を決意したと云われている。また戊辰戦争の際宇都宮城は幕府軍の攻撃により落城する、この時の城主戸田忠恕は城を脱出しこの神社の「お穴」に避難した事は有名。

<『国本地区づくり振興会』による看板より抜粋>